

いよいよ立春。今年の冬は数年に一度くらいに強い寒気が流れ込んでいたが、立春の4日、日中はやと暖かな陽気となり、横浜では平年より2、4度高い気温となりました。2週近く遅れていた梅の開花も立春の間に一気に進みそうです。

旧暦では、一年のはじまりは立春からと考えられていたので、八十八夜や二百十日など、立春を基準にさまざまな決まりや節目の日が定められています。立春の早朝、禅寺では厄除けのために門に「立春大吉」と書いた紙を貼る習慣があるそうです。この文字は、縦書きすると左右対称になり、一年間災難にあわなまいといわれています。

少しづつ若草が萌え出す初春。春の宵を朔にてごゆるりとお過ごしください。

二十四節季朔
林滋浩

本鱒の沼田

山菜の雲掛け

甘鯛銚焼き

白金豚曙

水菓子

京蕪清まし

玉菜飯

御取り寄せ

本日の盛り